



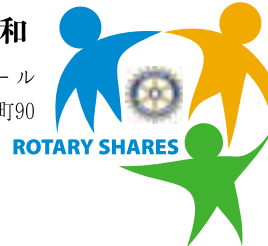
碧南ロータリークラブ週報

第2390回例会 平成19年12月19日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 新美 宗和 (SAA)

■ 例会日 毎週水曜日 12:30 ■ 例会場 碧南商工会議所ホール
 ■ 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
 TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
 ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>
 E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
 国際ロータリーのテーマ
**ロータリーは
 分かち合いの心**

● 斉 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 とんがり帽子

● 本日のお客様

碧南消防署長 高橋久志氏



鈴木敏弘会長

会 長 挨拶

11月末日会員の岡田起勇さんが病気で緊急入院され石橋幹事といっしょにお見舞いに行っていました。大変お元気で普段と少しも変わらないぐらいお元気でありましたが、少々言語障害が有ると言うことで、医師ご家族様がお見舞いはもう少し期日がたってからと言うことで見舞いを避けて見えると言うことです。

12月中旬も過ぎ大変寒くなって参りました。どうぞ皆様健康には十分留意して頂きますようお願い申し上げます。

今日は「カリブのクルーズ天国」についてお話しいたします。オリンピックの陸上短距離で強くよく聞く国々、ジャマイカ・ドミニカ・キューバ・プエルトリコ・トリニダードトバコ・ハイチ。バハマなどメジャーリーグの好選手も活躍し野球の盛んな国々でもあります。

日本から直行便もなく米国乗換で、大変時間が掛かり行きづらい国々でもあります。南アフリカからスペイン人によって奴隷として連れてこられた人々で肌の色は黒く歯は真っ白で非常に陽気で明るい人種の国々であります。

9年程前、世界一の超大型クルーズ客船が誕生しました。船名は「ボイジャーオブザシーズ」と呼ばれ全長311m幅48m総トン数137,278トンで有名なクィーンエリザベス2世号は70,000トンです。約2倍の大きさです。

マイアミ港から7泊8日でカリブの島々を3~4箇所巡ります。このような超大型船になりますと乗客数も3840人と乗組員1185人合わせて約5000人が8日間ともに船内生活をする事になります。設備は煙突の近くにロッククライミング場やバスケットコート、ゴルフのパター18ホール、アイススケートリングなど施設があり夜にはプロスケーターによるアイスショーが無料で鑑賞できます。

レストランも3層で一度に1800人が食事を楽しめる超ビックダイニングのほかコーヒーハウスやハンバーガーショップ、イタリアンレストランもあります。

又ロイヤルプロムナードと呼ばれた200mの大通りが船内中央に造られ両側にはブティックや

カフェバーお土産店カジノなど街となっており、週2回パレードが開催されて毎日がお祭り騒ぎです。

そんな大きな船に機会がありましたら一度お乗りになれたらとっておられます。

幹事報告

- 他クラブの例会変更等は幹事報告の通りです。
 次回は12月22日クリスマス家族会です。衣浦グランドホテルにて17:00より開催いたします。本年最終例会となります。
- 新年例会は平成20年1月9日（水）12：30より碧南商工会議所にて開催します。
- 小伴天さんよりお歳暮が届いております。
- 本日例会終了後この会場で経済講演会がありますのですみやかに片付けをお願い致します。お時間のある方は講演を聴いてください。



石橋嘉彦幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 80名（内出席免除者 12名）出席者 63名	
出席対象者 57/67名	出席率 85.07%
欠席者17名(病欠者1名)	前々回修正出席率 98.51%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

- 石橋 嘉彦君 本日の卓話の講師碧南消防署長 高橋久志氏を紹介します。
- 小笠原良治君 今年も安城産のそば粉が生産者の努力で、出来上がりました。先日そばを試作し、食べてみました。B e r y G o o d本当にうまいです。！！
- 新美 真司君 堀田さんにお世話になります。
- 杉浦 昌裕君 良いことが有りました。
- 清澤 聡之君 昨日、京都・渉成園にて有職研究会の講習に参加してきました。優美な姿と歴史を堪能して有意義な一日でした。

〈米山奨学委員会〉

米山功劳寄付者のご協力ありがとうございました。
合計135万円の寄付を頂きました。おかげで当初の目標もクリアできました。

卓話

「火・炎・災」

衣浦東部広域連合碧南消防署 署長 高橋久志

こんにちは。ご紹介をいただきました高橋でございます。皆様には日ごろから消防行政に格別なご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、衣浦東部広域連合は発足以来5年を過ぎようとしておりますが、管内人口52万人は全国807消防本部中31番目の人口規模となっております。18年中の火災件数は226件で全国23番目、救急件数は18,167件で39番目、消防職員数は402人で58番目となっています。管轄面積や地理的条件の違いもありますが、人口の割りに火災が多い、職員が少ない消防本部と言えます。

現在、国・県では消防の広域化を進めています。人口52万人を抱える衣浦東部広域連合も例外ではなく、更に広域化という話がありまして広域組織の枠組みについては、流動的な部分が多く今後の課題となっております。5年前に広域連合になったばかりですし、市町村合併が一段落したところで更に広域再編ということでは、全国でも苦情が多いようです。

私は昭和45年、高校を卒業してすぐ消防士になりましたので、37年の消防人生となります。ずっと碧南市に仕えてきて、広域連合になった今でも碧南市が身に染み付いています。消防局に行き



ますと上司からは広域連合全体を考えろと言われてますが、古いタイプの人間には刈谷のため、安城のため、知立、高浜のためにとはどうしても思えません。今年4月の人事異動で副署長、分署長の一部に他の所属出身者が就任しました。いずれ署長も他の所属出身者となる時期が来るでしょうが、もう少しの間「碧南に居させてくれー」と叫びたいです。

人事異動といえばこの4月、碧南署開署以来の出来事がありました。それは女性消防吏員が始めて配属されたことです。事務専門の女性職員は過去には数名おりましたが、いわゆる階級を与えられ、制服を着用する消防吏員としては有史以来のことなのです。連合全体では4名の女性吏員がおりまして、なかには救急救命士の資格を持った者もありますが、男と同じような泊まりの勤務は風呂、仮眠室、トイレなどの環境整備が十分でなく、まだできる体制になっておりません。そんな中で碧南東分署は数少ない女性が勤務できる環境の整った施設となっています。これからはますます女性の活躍の場が広がり、広域連合でも女性消防隊員、女性救急隊員の誕生は間近だと思います。

今は外見から想像もできませんが、私はこう見えても若いころは訓練のおかげで人並み以上の体力があり、ロープ1本で空中を渡るし、器具を付ければ海に潜ったり酸素の無いところへも進入するし、スーパーマンに近いなと思っておりました。しかし、火災や救助現場で映画やテレビドラマのようにかっこ良く火の中に飛び込んだり、ロープ1本で高いビルから人を助けたことは1度もありませんでした。

頭から水をかぶって火の中に飛び込み、子供を助け出すなんてシーンがありますが、あれは全くのうそ。火が着いた建物の中は酸素がチョー不足しております。たった1呼吸で体内の酸素が奪われて意識不明となり、バタッと倒れてそのまま焼死体となります。貴重品や思い出の品を取りに戻ってそのまま……というニュースには何度か接したことがあると思います。一旦避難したら二度と戻ってはいけないといわれるのはそのためです。

潜水は、専ら衣浦港で水死者の捜索でした。ハワイや沖縄のように珊瑚礁に熱帯魚という状況なら喜んで水に入りますが、水死者というとは何か心霊的なものを感じますし、視界が1メートルもない汚いところでは最初のころは不安感を通り越して恐怖心しかありませんでした。できるものなら水死者とは対面したくないものです。必ず2人1組で潜り、このことをバディを組むといいますが、水中でバディ同士が鉢合わせしてお互いがドキッとしたことは何回もありました。何度か経験するうちに不安感、恐怖感はなくなってきましたが、霊的なものはいつも体を感じ、神・仏は信心していない私でも、このときばかりは心の中で南無阿弥陀仏を唱えておりましたし、実際水死者と遭遇したときはまず手を合わせました。

市民の皆さんと接する機会はやはり救急が1番多いです。程度の軽い事故でも亡くなる人もみえますし、ひどい事故でも軽いケガで済む人もおられます。こうした現場に何回か出くわすと、その人が持って生まれた運命的な何かを感じるようになりました。人は皆最初から決まった運命を背負って生きているのかもしれない。倒れたお父さんの近くではしゃいでいる小さいお子さんをなだめながら涙している若い奥さん、お父さんお父さんと狂ったように叫び続ける家族、お迎えが来たと悟った感じの老夫婦の連れ添い。現場では色んな場面に遭遇しましたが、どうしても理解できないことが1度だけありました。その家に入っていくと、風呂場で倒れている親の世話をしている奥さん。意識が無くいびきをかいており一目で重症と分かりました。ところが奥の台所で飯を喰っているやつがいるではありませんか。奥さんの旦那さんでしたがどういう神経の持ち主なんですか。よほど腹が減っていたのか、先に急ぐことがあったにしてもどうしてもその行動には理解できませんでした。

また、先日はこんなことがありました。「玄関で女性が倒れている。」という119番通報。通信員は患者さんの症状などを聞き出した後、最後に通報者の氏名を聞くのですが通報者の返事は

「泥棒です。」というものでした。救急車が到着したときはさすが泥棒は現場におりませんでした。が、女性にとっては見ず知らずの男が急に現れたためパニックに陥り、意識を無くした事案でした。救急出動報告書の通報者氏名の欄は「泥棒」と記載してあります。

最後に、ただいま町内会を中心に消防団員を募集しております。なかなかすんなりとはいかず、町内会長さんは大変なご苦勞をなさっておられます。団員の誘いがあっても、仕事で会社に迷惑をかけてはいけないと思って「消防団に入ります。」と言えない従業員の方もみえるかも知れません。是非皆様の後押し、ご協力をいただきたいところでございます。「若い力で地域を守る消防団」。彼らは現役団員中は勿論、消防団を辞めてからでもその経験を生かして事業所で、地域で防火・防災に貢献することでしょう。

これから年末年始を迎えるにあたり、火の取り扱いには十分ご注意くださいと思います。おかげをもちまして碧南市における今年の火災件数は28件と例年になく少ない状態で推移しております。しかし、これは放火、火遊びの減少によるもので、てんぷら油、タバコ、ゴミ焼きなどちょっとした不注意によるものは一向に減る気配はありません。「火」は放っておくと「炎」となり、やがて人々に「災」をもたらすこととなります。火災の無い穏やかな暮れを過ごされ、そして新年をお迎えいただきますよう切にお願い申し上げまして私の卓話を終わらせていただきます。本日は、長時間ご清聴ありがとうございました

次回例会案内
平成20年 1月 9日（水） 新年例会